

第6学年 総合的な学習の時間

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- 総合的な学習として他の教科とのつながりをとらえ、広い視野を持って課題に取り組むことができる。
- 実生活の中から問いを見つけ出し、進んで情報を集めたり整理したりすることで解決し、それらを表現することができる。
- 自分自身の姿を見つめ、なかまより良く関わろうとすることができる。

【学習を進めるにあたって】

使用教材	
副教材	「郷土の偉人を知る 三井高利」(タブレット)
副教材	「郷土の偉人を知る 蒲生氏郷」(タブレット)

持ち物	
総合ファイル	タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読んだり、疑問に思うことや大事だと思うところに印をしたり、調べたりする等して、予習をしてみましょう。
- ワークシートなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前 期	後 期
・「郷土の偉人 三井高利」 幼い頃に母から教えてもらったことを心がけ、新しい商売の方法を生み出しながらそれを行動に移していった高利の功績や生き方について学ぶ中で、心に残ったこと、これからの自分の生き方に活かしていきたいことを考える。 ・「郷土の偉人 蒲生氏郷」 街道を整備し、城下町の商工業を発展させた氏郷の町づくりや、文化を愛し人とのつながりを大切にした氏郷の生き方について学ぶ中で、心に残ったこと、これからの自分の生き方に活かしていきたいことを考える。	・「人権フォーラム」 人権学習を通して、分かったことや考えたこと、これからの自分の生き方に活かしていきたいことを考える。 自分たちが学習したことを、表現方法を工夫したり改善したりして、分かりやすく相手に伝える。 他校の発表を見たりクラスで話し合ったりする活動を通して、自分自身を見つめなおし、分かったことや考えたこと、これからの自分の生き方に活かしていきたいことを考える。

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
技 能 知識・思考・表現・判断	単元全体を通して、よい点や学び、成長の様子を記述で表します。	発言・発表 授業の様子 グループ活動の様子 ワークシート
取 組 主体的に学習に		